

◆少年水産教室

海洋・漁業体験学習

與那嶺 盛次・城間 一仁

1. 目的

中学生を対象に体験学習を実施し、水産業に関する理解を深めるとともに将来の担い手の確保につなげる。

2. 実施対象

糸満市立西崎中学校 4名(2年)
糸満市立糸満中学校 2名(3年)
豊見城市立伊良波中学校 2名(1年)

3. 開催場所

糸満市糸満漁港地先及び沖縄県立沖縄水産高等学校

4. 開催日程

平成16年7月28日
午前9時 開校式(沖縄県水産試験場普及センター)
午前9時30分 実習船乗船体験(沖縄水産高校実習船)
午前10時30分 沖縄水産高校施設見学
正午 昼食
午後1時 漁具(餌木)製作(沖縄水産高校実習室)
午後4時30分 閉校式

5. 協力機関

沖縄水産高等学校
糸満漁業協同組合

6. 内容

平成16年7月28日糸満漁港地先や沖縄水産高等学校において、少年水産教室が開催された。参加者は、西崎中学校4名、糸満中学校2名、伊良波中学校2名の男子計8名であった。

午前9時より当普及センターにおいて開校式

を実施した。始めに瀬底センター長が挨拶を行って、開催日程等の説明の後、糸満漁港に移動し沖縄水産高校の実習船(かりゆし)に救命胴衣をつけ体験乗船した。実習船では、機関見学やロープ結索を実習するとともに、実際に操船を体験した。約1時間の乗船であったが、船酔い気味であったのは1名だけで、他の生徒は元気いっぱいに学んでいた。

乗船体験終了後、沖縄水産高校の水産物加工施設や海洋生物の飼育施設、操船作業機器実習室等を見学した。

午後からは沖縄水産高校の実習室において漁具(餌木)製作を実施した。餌木は、アオリイカ(方言名白イカ)を釣るためのもので、細かい作業があった。それでも生徒たちは、楽しく熱心に取り組み時間内に仕上げることができた。

参加した生徒たちは、どの学習にも興味深く取り組み内容の充実した教室が開催できた。後日、参加した生徒から同教室で作成した餌木でイカを釣ったとの報告があった。これを機会に少しでも水産業に関心を持ってもらえば幸いである。

最後に、今回の水産教室は、沖縄水産高校海洋技術科の先生方の全面的な協力により実施することができた心より感謝申し上げます。また、糸満漁協には、乗船体験における傷害保険を負担して頂いた併せて感謝申し上げます。今回は、8名の参加であったが、好評であったため生徒を集める工夫をして今後とも継続できればと考えています。



①実習船乗船前の注意事項説明



②実習船でのロープ結索実習



③実習船での機関見学



④実習船の操船体験



⑤沖縄水産高校の施設見学



⑥漁具(餌木)の作り方説明



⑦漁具(餌木)の作製



⑧完成した餌木